

【「警戒区域見直しにともなう榎葉町住民調査」実施主体】

・榎葉町

・大規模複合災害研究グループ

代表 関 礼子（立教大学 社会学部 教授）

林 雄亮（尚絅学院大学 総合人間科学部 講師）

【調査資金】

本調査は、科研費基盤研究（B）「大規模複合災害における自治体・コミュニティの減災機能に関する社会学的研究」（2012年度）により実施した。

【協力】

アンケート発送・データ入力・集計作業にあたっては、立教大学社会学部の以下の学生の協力を得た。大島千佳・上村梨子は、作業全般のコーディネートを担った。

大島 千佳 社会学科4年(データ入力)

上村 梨子 社会学科4年(アンケート発送、データ入力)

西野 美緒 現代文化学科2年(アンケート発送)

上田 英里名 現代文化学科2年(データ入力)

高垣 円香 現代文化学科2年(アンケート発送、データ入力)

平野 初実 現代文化学科2年(アンケート発送、データ入力)

また、報告書の作成過程では、上村梨子がデータ加工や作表など調査遂行に大きく貢献してくれた。記して感謝したい。

【謝辞】

アンケートにご回答くださった榎葉町の皆様、アンケート調査の実施までの調査でお話を伺わせてくださった方々に心から感謝したい。

「警戒区域見直しにともなう檜葉町住民調査」調査報告

2012年11月16日 発行

(編著 関 礼子)

発行 大規模複合災害研究グループ
〒171-8501

東京都豊島区西池袋 3-34-1

立教大学社会学部 関礼子研究室内
